

研究課題 評価結果概要一覧

番号	事業名	研究主体	研究期間	総事業費	制度の概要	研究の実施(概算要求)の適否に関する所見	今後検討を要する事項に関する所見	総括評価
1	みどりの食料システム戦略 実現技術開発・社会実装 促進事業のうち環境負荷 低減対策研究(新規)	民間団体等	令和7年度 ～ 令和9年度	11.7億円	農林水産業に起因する環境負荷の低減を図るため、農林水産業における温室効果ガス削減や化学農薬・化学肥料の使用量の低減、有機農業の取組面積の拡大等を目指すみどりの食料システム戦略に対応した技術の研究開発を推進する。	・いずれの課題も「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた課題であり、ニーズ、科学的・技術的意義はいずれも明確であり、重要性は高い。 ・アウトプットが可能な限り数値化されているとともに、アウトカム目標及びロードマップはいずれも明確である。	・農業分野における国産バイオマスの活用による脱炭素資材の開発においては、耐用性と低コスト化の両立を目指して進めていただきたい。 ・木質資材は菌床等としても重要な資源であることから、木質バイオマスの活用に当たっては、多用途に用いられるバイオマス資源のバランスの取れた利用という観点にも留意していただきたい。 ・藻類を活用した魚を利用しない養殖用の配合飼料への転換の研究課題に取り組むこととされているが、畜産飼料を通じたみどりの食料システム戦略への貢献など幅広い展開を期待する。	A
2	みどりの食料システム戦略 実現技術開発・社会実装 促進事業のうち気候変動 適応研究(新規)	民間団体等	令和7年度 ～ 令和11年度	17.9億円	今後深刻化が見込まれる気候変動への的確な対応に資する、温暖化「メリット」の利用技術や「デメリット」の適応技術等の研究開発を推進する。	・いずれの課題も今後深刻化が見込まれる気候変動への的確な対応・適応に資する課題であり、ニーズ、科学的・技術的意義はいずれも明確であり、重要性は高い。 ・気候変動適応に関する研究は公共性が高い喫緊の課題であり、国が先導する必要性は明確である。 ・アウトプット、アウトカムとも定量的に示されており、アウトカム目標とその実現に向けた研究成果の普及・実用化の道筋も明確である。	・水資源の予測の研究課題において、水資源は農業以外にも資源として重要な位置付けであるという視点に留意しながら研究を進めていただきたい。 ・本研究を進めるに当たっては、現場への普及を考慮した構成機関、連携体制を明確にして実施する必要がある。	A

※総括評価は、以下の3段階で評価。
A: 研究課題は重要であり、内容は適切。
B: 研究課題は重要であるが、内容の見直しが必要。
C: 研究課題は不適切又は、内容の抜本的な見直しが必要。